京都薬科大学

2018年 薬学部 第3問

3 空間の点A(6, 0, −2)および点B(0, 2, 6)を通る直線をℓとする．次の［　　］にあてはまる数を記入せよ．

(1) 直線ℓ上の点(x, y, z)は，$y =$［ア］$x +$［イ］および$y =$［ウ］$z +$［エ］を満足する．

(2) 原点O(0, 0, 0)から直線ℓに垂線OHをおろす．直線ℓ上の点Hの座標は(［オ］, ［カ］, ［キ］)であり，線分OHの長さは［ク］である．

(3) 点Hを中心とする半径5の球面とyz平面の交わりは，中心が点(0, ［ケ］, ［コ］)で，半径が［サ］の円になる．